

令和7年度第2回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和7年10月30日(木)
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザ 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時24分 閉会：午後2時42分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
<北秋田市教育委員会>
教育長 佐藤 昭洋
職務代理者 佐藤 英樹
委員 佐藤 正俊
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 <教育委員会事務局>
教育次長：金澤 誠 教育総務係長：櫻田 正明
教育総務課長：池田 恒平 学校給食係長：笹代 孝徳
学校教育課長：茂内 公貴 学校教育係長：金 幸子
生涯学習課長：山本 明美 文化財係長：渡辺 靖光
教育総務係(書記)：藤本 来夢
7. 案件 (1) 令和7年度主要教育施策の実施状況(上半期)について
(2) 事業の進捗状況の報告について
(3) 意見交換

8. 会議録

(午後1時24分 開会)

金澤教育次長	ただいまから、令和7年度第2回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 初めに、津谷市長より挨拶をお願いいたします。
津谷市長	本日はご多忙にもかかわらず、「令和7年度第2回北秋田市総合教育会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、教育委員の皆様には、日頃より

津谷市長	<p>本市の教育行政の発展にご尽力いただいておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、連日のようにクマの出没情報が寄せられており、本日も元町での目撃が確認されるなど、市内各地で発生が続いております。特に学校周辺での目撃も相次いでいることから、保護者をはじめ、学校・教育関係者の皆様には大変なご心配をおかけしている状況にあります。こうした中、学校と地域が連携し、見守り体制を強化していくことが重要であると考えています。県では自衛隊への派遣要請も行われ、対応が進んでいるところですが、自衛隊がどこまで関与できるかはまだ見通せない部分もあります。まずは「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、安全確保に努めていく必要があります。今後も、安全で安心な学校生活を守るため、皆様のお力添えをお願い申し上げます。</p> <p>一方、市内の各学校では、100キロチャレンジマラソンやクリーンアップをはじめ、ふるさと踊りや合川まつ火などの地域行事にも、たくさんの児童生徒が参加し、地域を大いに盛り上げてくれており、市民の皆様からも感謝の声が寄せられています。</p> <p>さらに先日は、スポーツや文化活動で全国・東北レベルの好成績を収めた児童生徒の皆さんが、市役所に報告に訪れてくれました。未来を担う子どもたちの活躍は、本市にとって大きな励みであり、私自身も大変うれしく、頼もしく感じているところです。</p> <p>本日の会議では、今年度の主要な教育施策が議題の中心となっているほか、教育委員会が大規模事業として進めている「鷹巣中学校体育館改築事業」と「森吉コミュニティセンター改築事業」の進捗状況報告をさせてもらいながら、委員の皆様のご貴重なご意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。</p>
金澤教育次長	<p>続きまして、佐藤教育長より挨拶をお願いいたします。</p>
佐藤教育長	<p>皆様、こんにちは。今年の秋は、天候が穏やかな日が多く、各学校では校外に出での活動も順調に行えております。一部ではクマの出没を懸念し、屋内で活動を行った学校もあったと聞いております。全ての学校で学習発表会や学校祭、学園祭を終え、産業祭では学校農園活動の掲示の外に、昨年度から始めた中学生・高校生による地元に関する研究発表も好評をいただいたと伺っております。</p> <p>今年から浜辺の歌音楽祭が市の文化祭1日目の開催となり、鷹巣東小学校、米内沢小学校、鷹巣中学校の3校が合唱を披露してくれ、市文化祭では、学校や生涯学習の成果を展示部門等で披露できました。また、23日から行われている「読書まつり」への関わりなど、まさに文化の秋、実りの秋を満喫できていると感じております。</p> <p>また、今年度も県外からの教育視察に、多数の方々が訪れております。昨日は、</p>

佐藤教育長	<p>阿仁学園の視察に3名の三重県鈴鹿市議会議員の方々を訪れ、今年度はこれまで、5団体の36名の方々が来市しております。福島県二本松市からは4年連続で来てくださっていますが、今回は新しい教育長と校長、教頭、教諭の7名が阿仁学園、米内沢小、森吉中を視察し、米内沢駅では「もりかつ（森吉活性化プロジェクト）」の状況も視察し、来年も是非視察に訪れたいと話しておりました。</p> <p>本日の総合教育会議では、今年度上半期の主要教育施策の実施状況についての報告に加えて、先ほど市長からもありましたように、鷹巣中学校体育館改築事業と森吉コミュニティセンター改築事業についても御意見をいただき、それを踏まえ、来年度の計画にも反映できるように検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
金澤教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、案件に入らせていただきます。「北秋田市総合教育会議運営要綱」により、議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いいたします。津谷市長、よろしくお願いたします。</p>
津谷市長	<p>要綱に基づいて、議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>初めに、案件（1）北秋田市教育大綱に基づく「令和7年度主要教育施策の実施状況について」、各担当課長から基本方針と目標ごとに説明をお願いします。</p> <p>初めに、学校教育関係について、学校教育課長、教育総務課長からお願いします。</p>
茂内学校教育課長 池田教育総務課長	<p><学校教育関係：学校教育課長、教育総務課長による資料説明></p>
津谷市長	<p>ただいまの説明について、委員の皆様からご意見、ご質問等ございませんか。</p>
藤本委員	<p>学校教育課に関して、3点お話しさせていただきます。</p> <p>まず1点目として、今年度は特に中学校でのボランティア活動に積極的に取り組まれていると感じています。校長先生や教頭先生が窓口となり、地域の方々と良好な関係を築いてくださっているからこそ実現しているのだと思います。地域行事をはじめ、100キロチャレンジマラソンや先日の市文化祭でも、生徒たちが働く姿を見ることができ、地域のために役立てる喜びを感じていたらうれしいと感じています。</p> <p>2点目は、クマの目撃情報への対応についてです。学校教育課や学校から、学区内でのクマの情報が土日も含め、メールやアプリで非常に迅速に配信されており、保護者として大変助かっています。私自身、森吉中学校の保護者として、これまでに70件近い情報を受け取りました。中には、スクールバスの降車地点まで保護者</p>

藤本委員	<p>の迎えをお願いする連絡や、迎えに行けない家庭に対しては最終バスの時間まで学校で生徒を待機させるなどの対応も行っていただき、安心して子どもを預けることができています。</p> <p>3点目は、先生方の電話対応についてです。お忙しい中での電話対応は負担も大きいと思うので、欠席や遅刻の連絡については、「スクリレ（※デジタル連絡ツール）」を全ての学校で導入・活用していただきたいなと思います。小学校では（スクリレで連絡が）できていたけれど、中学校では結局電話連絡になったという話も聞いています。夜中に子どもが熱を出した際にも、スクリレであればその時点で「明日は遅れて登校する」「病院に行く」などの連絡ができますし、今回のクマの件のように迎えに行けない場合にも、保護者が職場からすぐに連絡できるため大変助かります。せっかく便利なアプリを導入しているので、ぜひ全校で統一して活用していただければと思います。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。ただいま藤本委員から、最初の2点については、日頃の取組に対するお褒めの言葉を頂戴しました。3点目につきまして、学校教育課長からお願いします。</p>
茂内学校教育課長	<p>まず、1点目と2点目につきましては、地域の皆様のご協力により実現しているものであり、大変ありがたく思っております。</p> <p>スクリレにつきましては、各学校に導入されているものの、実際にどこまで活用するかについては、現在のところ学校ごとの方針に従っている状況です。市教委としましては、その優位性や利便性について、引き続き学校へ周知していきたいと考えております。</p>
津谷市長	<p>ほかにございますか。</p>
佐藤正俊委員	<p>藤本委員のお話に関連して、クマ対策について申し上げます。以前も、クマによる生徒の事故があり、その点が常に気がかりでした。先ほど市長からもお話があったように、今年はクマの出没が非常に多く、私自身も異常な状況だと感じています。実際に、昨日通勤途中で3頭のクマを目撃しましたが、車から大きな声で叫んでも逃げず、人に慣れてしまっているのではないかと危惧しております。10月16日に行われた森吉中学校の学校訪問の際、市教育委員会から緊急の出没情報が入りました。危険性が高いとのことで、会議中ではありましたが、公民館や学校に生徒を残し、保護者が迎えに来るまで見守るよう即時に連携して対応してくれており、その迅速さに大変感心いたしました。ただ、今後の対応としては、最初から公民館など学校周辺の安全な場所で生徒を待機させる体制も検討していただきたいと感じています。学校ではさまざまな制約があり、時間帯によっては保護者にも負担が生じる可能性があります。そのため、遅い時間帯になっても子どもを安全に見守れる場</p>

佐藤正俊委員	<p>所を確保することが必要ではないかと感じました。</p> <p>また、保護者の声として、クマの出没を理由に登下校時の送迎を依頼された際、仕事の都合で対応が難しいという意見も聞こえてきました。先ほど触れたように、学校側でしっかりと見守り体制をとっていただけることは大変心強いですが、まだ課題が残る部分もあると思います。今後、こうした点についてもぜひ検討を進めてほしいなと思います。</p>
茂内学校教育課長	<p>放課後の見守りににつきましては、クマの出没場所によっては、生徒が学校から外に出られない場合もありますので、その際は学校内で見守りを行うなど、状況に応じた対応を実施しているところです。また、先日合川地区で出没があった際には、学校と公民館が連絡を取り合い、「どこまで迎えに来てもらうか」「どの児童生徒をお願いするか」といった調整を進めておりました。今後も、各地区の実情に応じて、どのような体制が適切か整備していきたいと考えております。</p> <p>送迎につきましては、保護者の皆様にご負担をおかけしているところで、大変心苦しく思っております。現在も、鷹巣中学校と鷹巣小学校では保護者送迎となっておりますが、帰りに関しては、保護者の事情に応じて学校へご連絡いただければ、その時間まで学校で生徒を見守る体制をとっております。児童生徒の安全な居場所についても、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>
佐藤教育長	<p>今の件に関連して、合川の例が挙げられましたが、綴子では児童クラブ付近でクマの出没があり、その対応として、児童クラブを年内いっぱい綴子公民館へ移動させました。こども課と生涯学習課が連携し、子どもの居場所を確保する体制を整えているところです。先ほど正俊委員からもお話があったように、公民館とうまく連携しながら対応していくことは、今後ますます重要になると考えております。</p>
佐藤英樹委員	<p>クマの出没に関する意見が続いておりますが、関連して申し上げます。ある保護者から、「朝の時間帯に鷹巣中学校周辺が非常に渋滞し、それによって30～40分ほど到着が遅れ、勤務に支障が出ているため、行政側で渋滞緩和に向けて何らかの対応ができないか」という相談を受けております。教育委員会だけではどうにもならないかもしれませんが、車の流れを工夫するなど、特に朝の対応について検討していただければと思います。なお、現在のクマ対策については、教育委員会が早朝から夜間まで丁寧に対応してくださっており、大変ありがたく、評価しております。今後ともよろしく申し上げます。</p>
茂内学校教育課長	<p>鷹巣中学校の朝の渋滞につきましては、学校側も課題として認識しており、現在できる範囲で工夫を行っているところです。具体的には、1年生についてはグラウンドではなく職員駐車場で降車させ、坊沢方面へ、2・3年生は裏のバスプールで降車させ、深関方面や田中方面へ抜けるルートをとるなど、分散を図っています。</p>

茂内学校教育課長	<p>しかし、町のほうに戻りたい方が多く、どの方向から出ても陸橋に行ってしまうので、そこで混雑が発生する状況が生じています。現時点では、学校が可能な範囲で工夫し対応しているところですが、今後さらにどのような方法が考えられるか検討していかなければならないと考えております。</p>
蒔苗委員	<p>学校の送迎について、児童生徒の保護者に限定した場合、都合がつかない場合やすぐに対応できない場合もあるかと思われます。近所の方をお願いするなど、保護者以外の送迎は可能なのでしょうか。</p>
茂内学校教育課長	<p>送迎は保護者に限定せず、祖父母に送迎をお願いする場合もあるようです。また、一部の地域では、保護者同士で連絡を取り合い、「今日はうちで送っていく」といった協力も行われています。しかし、現在は子ども会のつながりが以前に比べて希薄になっており、人に頼むことが難しい状況にあることは、学校側でも私どもでも把握しております。</p>
津谷市長	<p>私はいつも歩いて出勤しているのですが、元気に登校する子どもたちの姿を最近見かけないなど思っていました。協力していただいて、皆さん車で移動しているということですね。</p>
茂内学校教育課長	<p>ご協力に関しては、非常にありがたく思っております。今週、県の生活環境部からクマスプレーをいただき、各校の見守りの方々にお渡しするため学校へ配付いたしました。しかし現在は車での送迎が中心となっており、実際の活用機会がなかなかない状況です。</p>
津谷市長	<p>先日、県の生活環境部長にお礼を申し上げました。ほかにございますか。</p>
藤本委員	<p>教育総務課に申し上げます。先日、私たちが学校訪問の際に給食をごちそうになりましたが、松尾牛やJAからのあきたこまちの無償提供などをいただけるのは、やはり地域の方々が子どもたちのためを思ってくださってのことだと思います。また、地域行事などに子どもたちが積極的に参加し、その元気な姿を見せることを学校で大切にしていることも（無償提供に）つながっているのではないかと考えています。さらに、地場産食材の使用についても、北秋田市産の食材に子どもたちが愛着を持ち、積極的に食べてみようという気持ちにつながっていると思います。北秋田市の生産者の方々にとっても、学校給食で安定的に食材を提供してもらうことは振興につながります。地場産食材の使用は、必要な食材の種類や量、旬の時期などについて、丁寧な打合せのもとで成り立っているのだらうと推察されます。森吉の学校給食の月間献立表を見ますと、10回近くも（地場産食材を）取り入れてくださっていて、給食担当の方々と北秋田市の生産者の協力に感謝しております。</p>

池田教育総務課長	<p>ありがとうございます。実際に私も給食の時間に子どもたちの様子を見させていただきました。子どもたちは非常に嬉しそうに食べており、他の学年の児童がわざわざお礼を言いに来るほど、身近に感じている様子が見られました。また、献立については栄養教諭の先生方が丁寧に地場製品の紹介を行っており、ホームページでも画像付きで定期的に情報を発信しています。これにより、子どもたちがより身近に地場製品を感じられるようになっており、今後もこの取組を進めていきたいと考えております。</p>
佐藤教育長	<p>少し補足いたします。鷹小での給食の際に、卒業生である松尾さんの息子さんが3人来られました。そのうち2人が牧場を担当していて、「自分たちが育てた牛です」と話してくれました。このことで、給食の時間がキャリア教育や地域産業と結びつく機会となり、子どもたちにとっても非常に有意義な時間になったと思います。こうした生産者とのつながりを、今後もそれぞれの地域で考えていければと感じたところです。</p>
佐藤正俊委員	<p>学校訪問で感じたことについて、感謝の気持ちを込めて述べたいと思います。先ほど茂内課長からお話のあったとおり、本市では1人1台の端末が整備されており、さらに電子黒板も活用されています。他町村に先駆けた取組であり、授業が楽しく充実したものになっている様子を拝見しました。非常に高価な設備だと思いますが、まだ備え付けていない学校にも、できるだけ早く整備していただきたいと思います。子どもたちを見て、一番驚いたのはタブレットの活用でした。どの学校でも授業に取り入れられており、1年生が全員しっかりと使用している姿には感心しました。ローマ字入力なども問題なく行っており、早期の端末整備の重要性を実感しました。一方で、充電不足や機器の消耗など、一部で改善が必要な状況も見受けられました。学校には、子どもたちの使用状況や機器の状態を日頃から把握し、必要な要望を適宜出していただきたいと感じました。</p>
佐藤英樹委員	<p>松尾さんからの牛肉の提供については、小中学校だけでなく、市内の子ども園や保育所にも提供いただいたと伺っております。北秋田市には、牛肉だけでなく豚肉や鶏肉などもあり、厳しい学校給食の運営を地場産業で支えていただきたいと思いますので、こうした取組をさらに広め、関係者の励みになるよう、何かの機会に感謝状を贈呈するなどして、地域とのつながりや支援の動きを高めていただきたいと思います。</p>
池田教育総務課長	<p>せっかくいただいたものですので、地域の方々にも広く知っていただけるような工夫や仕組みを検討していきたいと思います。</p>

佐藤教育長	<p>昨日はポーランドから豚肉を提供していただき、メンチカツが給食に出されました。</p>
津谷市長	<p>一回目の総合教育会議の際、東京にいる娘の給食の話をしました。その子たちが、例えば牛肉や新米が食べられる北秋田市の給食の内容を聞くと、「北秋田市がうらやましい」と話しますね。</p> <p>時間の関係もございますので、次に移ります。</p> <p>次に生涯学習関係について、生涯学習課長からお願いします。</p>
山本生涯学習課長	<p><生涯学習関係：生涯学習課長による資料説明></p>
津谷市長	<p>ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。</p>
藤本委員	<p>仕事が終わった後や土曜日に講座を開催されていることは、これまで公民館を訪れる機会の少なかった方々に、公民館の講座を知っていただく良い機会になっていると思います。職員の方にはご負担をかけていることと思いますが、小中学生の作品展やロビー展の充実と合わせて、たまたま講座に訪れた方にも作品などを見ていただけるなど、さまざまな効果を生んでいると感じます。</p> <p>また、合川公民館については、美しいポスターの作成やInstagramでの広報活動などが活発に行われていると感じます。Instagramに写真を載せる際にも、顔が映らないようにするなどきめ細かい配慮がされております。こうした取組を、同じ生涯学習課の他の公民館にも共有やご指南をしていただきたいと思います。</p> <p>読書まつりについてですが、読書まつりの期間中でなくても鷹巣図書館や森吉図書館では、バックナンバーや除籍本を自由に手に取れるように置いています。もしそういった本の置き場所を確保できるのであれば、コミュニティセンターのホールなどで一時的にまとめて展示し、「この日だけどうぞ」という形でイベント化することで、日頃気づかなかった方々にも来ていただけるのではないかと思います。</p>
山本生涯学習課長	<p>先ほど少し紹介しました合川公民館のロビー展のポスターも、合川公民館の職員が作ったもので、絵手紙作品自体が非常に良いものでした。藤本委員からも「これをもう飾らなくなるのはもったいない」とのご意見をいただき、たまたま私が会員の方と知り合いだったこともあり、他の場所に貸し出して展示するという形で、今年初めて巡回展示を行っているところです。</p> <p>また、生涯学習課では月に一度係員が集まって打ち合わせを行い、合川公民館の良い取組を他の公民館でも取り入れるように工夫しています。こうした取組が徐々に波及するようにしていきたいと考えております。</p> <p>本のバックナンバーやリサイクル本についても、藤本委員のご提案のとおり、特</p>

山本生涯学習課長	<p>定の日イベントのようなかたちで展示することで、普段来館しない方々にも来ていただけるような取組も考えていきたいと思っております。</p> <p>さらに、新聞でも取り上げられましたが、合川公民館ではオリジナルのしおりも作製しており、公民館ごとにさまざまなしおりを作製しています。今年は「良い取組はみんなでまねし合おう」を合い言葉にしており、今後もこうした取組を継続してまいりたいと考えております。</p>
津谷市長	<p>合川公民館だけではなく、それぞれの公民館によいところがあると思いますので、共有していくとよいかと思います。</p>
佐藤英樹委員	<p>4ページの「日本語教室開催事業」について、予算はわずかであるものの、今後の2040年問題を考えると、この地区でも労働人口の不足が見込まれます。そのため、外国人材をどのように受け入れていくかが、地域の重要な課題となっています。日本語能力試験はN1からN5までである段階のうち、4くらいまでいくと延長して仕事ができるようになるそうです。日本語教室にきた方々がステップアップするために、日本語が大きなウェイトを占めると考えられますので、この事業の経費を行政だけで賄うのが難しい場合には、各企業や団体からの支援も得ながら、より十分な支援体制を整えていくべきではないかと思っております。今回の事業評価は「A」ですが、今後さらに充実するように頑張っていたいただきたいと思います。</p>
山本生涯学習課長	<p>現在、指導者は3名で対応しております。4月に民間企業が自社で日本語学習を始めたものの、継続が難しいという事情もあり、こちらの日本語教室を受けております。人数が多くなった場合には、午後に新しい教室を開く形で試験的に開始しましたが、現在は人数も落ち着いているため、午前中の10時から12時までの時間帯で実施しています。今後も要望があれば、それに応じた形で柔軟に対応していきたいと考えております。</p>
佐藤正俊委員	<p>市の文化財についてですが、以前も少し触れましたが、見学の手続きを設けてほしいという意見です。先ほど課長から、合川庁舎の2階に文化財を保管している部屋があると伺いました。鷹巣南小学校にある2,000点以上の文化財についても、単に名札を貼って整理するだけでなく、合川庁舎の2階を文化財審議委員会の方に任せ、定期的に展示品の入れ替えを行い、見学できる形にしてはどうかと思っております。そうすることで、同じものを置きっぱなしにするのではなく、多くの文化財を審議委員会の方に入れ替えてもらうことで、活動の意義ややりがいを感じてもらえるのではないのでしょうか。現在すでに行われているかもしれませんが、そうした活動の場があってもよいのではないかと思います。</p>
山本生涯学習課長	<p>合川の収蔵品については、ある程度まとまっております。もう少しきれいに飾り</p>

山本生涯学習課長	付けたり、貼り直したりする部分は必要だと思いますが、合川地区でまとめたものなので、他の収藏品と一緒にするというよりは、昨年の生涯学習フェスタの中で鷹巣南小学校の収藏品を見ていただく機会を設けました。今年も生涯学習フェスタの中で同様の機会を計画しており、それに加えて、チャレンジブースの空いているスペースを活用し、期間を限定して見学してもらう形での紹介も可能ではないかと考えているところです。
佐藤正俊委員	それには、審議委員の方々が関わっているのですか。
山本生涯学習課長	収蔵庫については、先日整理した際に関係者の方々に加え、審議委員の方にもご協力いただきながら整理を行いました。今後も、どの収藏品を皆さんに見ていただくかの選定について、審議委員の方々のご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。
佐藤正俊委員	期待しています。
津谷市長	それでは、(1)の案件につきましては、これまでの実施状況や成果を確認できましたので、これから実施する事業についても十分に成果が達成されるように進めてください。 続いて、案件(2)事業の進捗状況の報告について説明をお願いします。
池田教育総務課長 山本生涯学習課長	<教育総務課長、生涯学習課長、事業の進捗状況について説明>
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
藤本委員	鷹巣中学校の体育館についてですが、以前学校訪問で伺った際、渡り廊下になる予定の玄関を通じて、登校しづらい子どもたちが別室登校の形でミーティングルームに行くと言いました。その玄関が体育館の渡り廊下でつながると、体育のたびに多くの生徒が通ることになります。今の玄関をそのまま使うとしたら、別室登校の子どもたちの動線がどのようになるかも、今後確認していただければと思います。
池田教育総務課長	ありがとうございます。その点につきましては、今後確認し、検討していきたいと思っています。
津谷市長	ほかにご覧ですか。 なければ、続いて、案件(3)意見交換に入ります。 特にテーマは設けませんので、本市の教育について皆様からご意見、ご提言をい

津谷市長	<p>ただきたいと思います。何かございませんか。</p>
佐藤正俊委員	<p>今朝、総合教育会議に来る前に岩野目バイパスを見学してきました。とてもきれいで、まるで滑走路のような雰囲気、驚きました。約700メートル近い道を、私も初めて通らせていただきました。通った道の左側には岩野目駅があり、新築されたかのようにさまざまな絵が描かれていて、とても良い雰囲気でした。ちなみに、絵は阿仁学園の子どもたちが総合学習の時間に制作したものだそうです。その駅を左に見ながら山手の方を見ると、ちょうど紅葉の時期で、まず景色が素晴らしかったです。ぜひ一度、皆さんも見に行ってみてください。素晴らしいものが地域にでき、今後、内陸線の観光スポットになることを期待しています。さまざまな人が通る場所ですので、今後も大切に活用してほしいと思いました。</p>
津谷市長	<p>阿仁学園の子どもたちも大変素晴らしい駅にしてくれたと思います。 ほかにご意見はございませんか。</p> <p>それでは、意見交換はここまでとさせていただきます。先ほどより、委員の皆様から各案件について御意見・ご提言をいただきました。これらをしっかり踏まえ、今後実施する事業においても十分に成果が出るよう、よろしく願いいたします。</p> <p>本日の案件が全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
金澤教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて「その他」でございますが、何かございますか。</p> <p>ないようであれば、事務局からお知らせしたいと思います。</p> <p>第1回の会議で暫定版として提出させていただいておりました「令和7年度 北秋田市の教育」につきまして、製本されたものを本日配付させていただいております。</p> <p>また北秋田市校長会から提出がありました「令和7年度 教育条件整備について のお願い」、こちらの文書も配付させていただいております。各学校から児童生徒の学習や生活環境の改善に関する要望などが出されておまして、情報を共有するために配付させていただいたものでございます。「北秋田市の教育」とあわせて、後ほどお目通しいたきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、ほかにないようであれば、以上をもちまして、第2回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>

(午後2時42分 閉会)